

## 講演

第4回 早稲田大学法科大学院・国立台湾大学  
法律学院「学術交流ワークショップ」の記録I 台湾刑事再審新制度4周年の回顧と展望  
——裁判例の軌跡——

謝 煜偉

劉 家丞 訳

## II 謝教授のご報告について（コメント）

稗田雅洋

III 量刑に対する裁判員と裁判官との差異  
——死刑に関する事案を中心に——

李 茂生, 周 憐嫻, 林 育聖, 許 博鈞, 宋 建銘

周 芊妤 訳

IV 李茂生教授ほか「量刑に対する裁判員と裁判官との差異  
——死刑に関する事案を中心に——」に対するコメント

甲斐克則

## V ストーカー行為犯罪化の動向

王 皇玉

洪 士軒 訳

VI 日本のストーカー規制における現状と課題  
——王皇玉教授の報告に対するコメントとして——

小西暁和

## 第4回 早稲田大学法科大学院・国立台湾大学法律学院 「学術交流ワークショップ」の記録

ここに掲載するのは、2019年10月9日（水）に早稲田大学27号館（法務研究科棟）306教室で開催された「第4回 早稲田大学法科大学院・国立台湾大学法律学院 学術交流ワークショップ」における、国立台湾大学法律学院の報告者の報告原稿と、それに対する早稲田大学法科大学院の指定発言者によるコメントである。

早稲田大学法科大学院と国立台湾大学法律学院においては、2016年9月、国立台湾大学法律学院において民法分野をテーマとした「第1回 学術交流ワークショップ」を開催したのを皮切りに、それ以降、毎年1回、テーマ領域を設定したうえで、開催校を毎年交代しながらこの「学術交流ワークショップ」の開催を続けている。2019年度は、台湾国立大学法律学院から3名の報告者（謝煜偉副教授、李茂生教授、王皇玉教授）にご参加いただき、早稲田大学法科大学院において「刑事法」分野をテーマ領域としたワークショップが開催された。

当日は、早稲田大学内外の多くの方々にご出席いただき、非常に活発な議論がなされた。大変有益かつ議論誘発的なご報告をいただいた3名の先生方、指定発言者としてコメントを下さった先生方、ご協力頂いた関係各位に、心より謝意を表したい。また、蔡芸琦さん（現・筑波大学人文社会系助教）、そして、早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程に在籍されている劉家丞さん、周芊妤さん、洪士軒さん（現・弁護士、文化大学非常勤講師）には、事前の報告原稿の翻訳、当日の通訳等において多大なご協力を頂いた。この場を借りて御礼を申し上げたい。

（杉本一敏）